



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部部長 (氏名) 吉水 あつ子

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,411	8.0	1,366	11.0	1,583	7.5	1,352	38.0
2021年3月期第3四半期	14,264	1.6	1,231	8.4	1,472	7.1	979	12.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,503百万円 (28.0%) 2021年3月期第3四半期 1,174百万円 (16.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	50.35	
2021年3月期第3四半期	36.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,698	19,474	79.0
2021年3月期	23,475	18,246	78.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 19,512百万円 2021年3月期 18,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		11.00	11.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当金 11円00銭 記念配当金 2円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	5.3	1,450	0.9	1,680	5.2	1,450	21.0	54.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	29,748,200 株	2021年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,896,419 株	2021年3月期	2,896,189 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	26,851,865 株	2021年3月期3Q	26,852,170 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化で収束が見通せないなか、ワクチン接種が進んだことに伴い新規感染者数が減少し、行動制限が緩和されるなど回復の兆しが見られたものの、新たな変異株が出現し再度の感染拡大などで先行きは依然として不透明な状況であります。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向に変わりはなく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全般的に厳しい販売環境が続いております。

この様な環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,411百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益1,366百万円（同11.0%増）、経常利益1,583百万円（同7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,352百万円（同38.0%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がより大きかった前年同期と比べ、販売数量は増加し、増収となりました。しかしながら、利益面では製品出荷価格の引き上げを行ったものの、急激な海外原糖相場の上昇に国内製品市況が追い付かず、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高8,391百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益1,000百万円（同25.6%減）の増収減益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品としての採用に加え、低糖質やタンパク質補強の採用も増えたことにより、国内販売及び海外販売が増加し、増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ㈱は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のなか、主力のペクチン、ゼラチンの販売増で増収を確保することができました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高6,322百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益603百万円（同133.5%増）の増収増益となりました。

③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高430百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益401百万円（同22.1%増）の減収増益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

④ その他食品

その他食品事業は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高267百万円（前年同期比52.1%増）、営業利益20百万円（前年同期 営業損失13百万円）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.2%増加し、24,698百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ9.9%増加し、11,577百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、13,120百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、3,660百万円となりました。これは主に買掛金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、1,563百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、19,474百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2022年3月期)の業績予想につきましては、本日(2022年1月31日)公表いたしました「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想は当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,667,721	3,522,253
受取手形及び売掛金	2,800,434	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	3,104,619
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	1,851,750	2,038,013
仕掛品	99,488	176,600
原材料及び貯蔵品	638,827	1,061,319
その他	1,177,944	1,377,555
貸倒引当金	△1,304	△2,477
流動資産合計	10,534,862	11,577,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,353	346,992
機械装置及び運搬具（純額）	201,776	208,052
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	15,582	91,594
その他（純額）	109,598	100,163
有形固定資産合計	3,194,747	3,274,238
無形固定資産		
のれん	2,716	-
その他	69,800	55,928
無形固定資産合計	72,516	55,928
投資その他の資産		
投資有価証券	7,406,626	7,651,974
長期貸付金	1,840	1,783
関係会社長期貸付金	1,792,800	1,806,300
退職給付に係る資産	36,672	60,695
その他	454,660	283,093
貸倒引当金	△19,078	△13,117
投資その他の資産合計	9,673,521	9,790,729
固定資産合計	12,940,785	13,120,896
資産合計	23,475,647	24,698,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,116,918	1,575,086
短期借入金	1,281,260	1,300,850
未払法人税等	322,732	25,574
賞与引当金	116,878	61,949
その他	795,145	697,115
流動負債合計	3,632,935	3,660,575
固定負債		
長期借入金	329,342	237,200
資産除去債務	76,885	77,603
その他	1,189,758	1,248,941
固定負債合計	1,595,986	1,563,745
負債合計	5,228,921	5,224,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,097,131
利益剰余金	13,460,462	14,511,689
自己株式	△717,257	△717,384
株主資本合計	16,317,009	17,415,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,055,391	2,048,126
為替換算調整勘定	21,656	70,066
退職給付に係る調整累計額	△26,088	△22,060
その他の包括利益累計額合計	2,050,959	2,096,132
非支配株主持分	△121,242	△37,569
純資産合計	18,246,726	19,474,459
負債純資産合計	23,475,647	24,698,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	14,264,780	15,411,443
売上原価	10,295,946	11,633,383
売上総利益	3,968,833	3,778,060
販売費及び一般管理費	2,737,597	2,411,806
営業利益	1,231,236	1,366,254
営業外収益		
受取利息	23,591	21,820
受取配当金	69,466	85,091
為替差益	25,982	-
持分法による投資利益	102,022	132,286
その他	31,352	27,645
営業外収益合計	252,415	266,844
営業外費用		
支払利息	11,512	11,330
為替差損	-	38,596
その他	33	46
営業外費用合計	11,545	49,973
経常利益	1,472,106	1,583,124
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,818
債務免除益	-	90,731
特別利益合計	-	96,549
特別損失		
固定資産除却損	431	24
解体撤去費用	91,500	-
投資有価証券売却損	-	757
特別損失合計	91,931	782
税金等調整前四半期純利益	1,380,174	1,678,892
法人税、住民税及び事業税	439,545	110,189
法人税等調整額	△36,868	112,476
法人税等合計	402,676	222,666
四半期純利益	977,498	1,456,225
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,352	104,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	979,851	1,352,098

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	977,498	1,456,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,774	△7,265
為替換算調整勘定	△43,154	50,178
退職給付に係る調整額	7,505	4,027
その他の包括利益合計	197,125	46,940
四半期包括利益	1,174,623	1,503,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,180,422	1,388,529
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,798	114,637

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は368,676千円減少し、売上原価は6,012千円減少し、販売費及び一般管理費は362,664千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は5,498千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行なっておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,933,466	5,717,383	438,314	175,616	14,264,780	—	14,264,780
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,589	—	5,189	14,977	27,756	△27,756	—
計	7,941,055	5,717,383	443,503	190,593	14,292,536	△27,756	14,264,780
セグメント利益 又は損失(△)	1,344,791	258,473	328,620	△13,866	1,918,019	△686,782	1,231,236

(注) 1 セグメント利益の調整額△686,782千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	8,391,204	—	—	—	8,391,204	—	8,391,204
食品添加物	—	143,345	—	—	143,345	—	143,345
機能性食品	—	5,963,997	—	—	5,963,997	—	5,963,997
切花活力剤	—	215,112	—	—	215,112	—	215,112
製パン等	—	—	—	267,108	267,108	—	267,108
顧客との契約から 生じる収益	8,391,204	6,322,454	—	267,108	14,980,767	—	14,980,767
その他の収益	—	—	430,676	—	430,676	—	430,676
外部顧客への売上高	8,391,204	6,322,454	430,676	267,108	15,411,443	—	15,411,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,739	—	4,488	23,959	36,188	△36,188	—
計	8,398,943	6,322,454	435,165	291,068	15,447,632	△36,188	15,411,443
セグメント利益	1,000,084	603,412	401,102	20,221	2,024,820	△658,566	1,366,254

(注) 1 セグメント利益の調整額△658,566千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「精糖」の売上高は364,091千円、「機能性素材」の売上高は4,585千円それぞれ減少しております。なお、「精糖」「機能性素材」のセグメント費用が同額減少するため、セグメント利益に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。